

令和7年度ぐんま多文化共創 シンポジウムを開催します！

2026.01.07

群馬県は、「外国人と日本人が共に活躍できる群馬県」をテーマにシンポジウムを開催した。
県が多文化共創カンパニーに認証したアサヒ、積善館、三山会の担当者が受入れ事例を紹介した。
各社で働く外国人社員も、群馬で働くきっかけ、現在の業務、キャリア、職場の良さを発表した。
登壇者と県内企業、外国人留学生が直接意見交換する座談会も設けた。
会場定員は50人で、企業関係者25人、外国人留学生等25人を想定し、オンライン参加にも対応した。
採用側と働く側の双方から職場定着の条件を考える取組となった。



**ぐんま多文化共創
シンポジウム**

*** モデレーター ***
共愛学園前橋国際大学 教授 西館 崇 氏

*** シンポジスト ***
株式会社アサヒ（製造業）
株式会社 積善館（宿泊・飲食業）
社会福祉法人 三山会（医療・福祉）

対象：県内事業者、外国人留学生等

2026年 1月23日(金) 10:00～12:00(予定)
場所：NETSUGENセミナースペース（オンライン参加可能）
定員：先着50名※オンラインでの参加は含みません。

参加費無料

▼お申し込みはこちら



「外国人雇用状況」の届出状況まとめ (令和7年10月末時点)

2026.01.30

群馬労働局は、2025年10月末時点の外国人雇用状況を公表した。

外国人労働者は6万1,040人で、前年より4,102人、7.2%増え、過去最多となった。

雇用事業所は6,744所で、前年より400所、6.3%増加した。

在留資格別では身分に基づく在留資格が2万1,428人、専門的・技術的分野が1万5,735人、技能実習が1万3,022人だった。

国籍別ではベトナム1万4,084人、ブラジル8,455人、フィリピン7,156人、インドネシア6,799人が上位となった。

産業別では製造業が2万1,966人で36.0%を占め、県内製造業を外国人材が支える構造が示された。

官（自治体等）

（関連画像 準備中）

ベトナム大学生インターンシップ事業 成果報告会を開催します

2026.02.03

群馬県は、ベトナムのFPT大学生を県内企業へ受け入れた海外人材インターンシップの成果報告会を実施した。県のベトナムとのトップ外交を人材確保につなげる試行事業として、2026年1月から行われた。

IT人材育成と日本語教育に力を入れるFPT大学の学生1人が、前橋市内の製造業で2週間の実習に参加した。

学生は企業の業務や職場文化を学び、受入企業は専門能力や日本語での意思疎通を確認した。

報告会では学生、企業、県が、成果と今後の採用可能性を共有した。

県内中小企業が海外大学から高度人材を採用するモデルの検証を目的としている。



外国にルーツを持つ高校生による 令和7年度第二期インターン報告会

2026.02.17

群馬県と認定NPO法人カタリバは、外国にルーツを持つ高校生の職業体験成果を発表する報告会を企画した。県内公立高校に通う約15人が、県内企業で実施した「Rootsインターン」の活動を発表した。

外国ルーツの若者が日本社会との接点や将来の職業像を得にくい課題に対応する事業である。

共愛学園前橋国際大学の西舘崇教授が進行を担当し、受入企業も参加した。

報告会では活動発表と修了証授与を行い、企業側も受入れを通じて得た気づきを共有した。

将来の県内就職や、企業の多文化対応を促す人材育成策となっている。



令和7年度第一期活動報告会の様子

令和7年度群馬県多文化共創カンパニー 認証事業者の取組紹介記事・動画を公開

2026.04.21

群馬県は、外国人材の受入環境に優れた3事業者の取組紹介記事と動画を公開した。

対象は安中市の製造業・アサヒ、中之条町の宿泊業・積善館、高崎市の医療・福祉法人・三山会である。

各社は外国人社員を「仲間」として迎え、日本語教育、業務指導、キャリア形成、生活面の支援を進めている。三山会では特定技能や定住・永住資格を持つフィリピン、インドネシア出身者などが介護現場で働く。

企業向けには受入れノウハウを、外国人向けには職場や地域で働く魅力を別々に発信した。

優良事例を横展開し、県内企業の採用・定着環境を底上げする狙いである。

